



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

お話、ありがとうございました。

今回、原爆の話を聞いて、1発の原爆でどれほどの方が大きな被害を受け、亡くなつてしまつたり、被爆者がどれほど出たか分かりました。もう、このような出来事が二度と起こらないよう、平和で安全な世界になれば良いと思います。

原爆の話を聞いているだけで、私はとてもこわかつたけれど、実際はその何倍もおそろしいことが分かりました。建物がほぼなくなつて、いままでと全く変わつてしまつたり、体が自由に動けなくなつてしまうなどの事も知りました。今回、お話を聞いて原爆がどれほどこわく、おそろしいことが分かりました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、戦争などを経験したことがなく、教科書などで知っていましたが、お話を聞きとてもこわく思いました。

死者数は、14万人もいて、その内の2万人は、いっしょにいなくなるとしても大変さが分った気がします。死亡率が40%もあり、5人に2人の人がなくなってしまう、私の予想をうわまわっています。原爆先生のお話で手のひらがとけて、骨が見える、肉が見えるなどを聞いて、とてもこわくなり、私もなたらどうしようなど考え軽くふるえていました。

爆弾が太陽の6000℃よりも1000℃もあつくてひらくりしました。東京スカイツリーぐらいの高さからおとし、きょうふしかないと思います。5分ぐらいのビデオを見ている時、つらいんだらうな、大変なんだらうなと思いました。

こんな貴重なお話、ありがたいと思っています。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

私は、先生の話聞いて、原子爆弾の
こわさを知りました。特に原爆が時速300km
で投下された事について印象が残り
ました。投下されてから約4kmほどの場
所に爆発され、太陽よりも熱い、100万℃
～7000℃ほどの原爆で、広島市人口
35万人に対し、被爆者数24万人、死者数
14万人の死亡率40%。と5人に2人が原子
爆弾で亡れている事が分かりました。

という事を知って、こんなにも被害に合っ
た人たちが全身やけどで赤い人たちを
少しでも助けた事、声をかけた事が
とてもすばらしいと思いました。私も今回
話を聞いて、少しでも助けられる事、
助けを求めている人たちに自分から声を
かけに行ける人になりたいです。



原爆先生の特別授業を^{じゅこう}受講して

表

名前は裏面に記入してください

12
125

ぼくは原爆先生の話を聞いて、原子爆だんのおそろしさを改めて知りました。まず原子爆だんのほうげき波の速さが音よりも速くほうげき波だけでも、多くの人の命をうばったことです。また、200mの玉球たいいは7000℃もあり太陽の表面温度を1000℃も起えていてとてもビックリしました。もともと広島市にいた人の40%が命をうばわれました。想像していた以上のおそろしさなので、これからは原子爆だんをつかあない世の中にしたいです。今の度は貴重なお話を聞かせていただきありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこ

表

名前は裏面に記入してください

12/25

広島市の人口が35万人もいたのに、死者数が14万人もいると聞いてビックリしました。

こんなにたくさんの方が亡ってしまうのならば、絶対に戦争はしてはいけないなと思いました。

原爆ドームの勉強をしている時、原爆ドームが本当の名前なのだと思っていたけれど、本当は、「広島県産業奨励館」とちゃんとした名前があったのがおどろきました。

原爆ドームが衝撃をうける前とつけた後の様子がまったく違っていておどろきました。他の色々な衝撃をうけた街が目を見詰めるようなものになっていてとてもぞわぞわしました。私がこの話を聞いているだけでぞわぞわしたので池田先生のお父さんは、私よりももっともっとぞわぞわしたと思いました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

ぼくは、原爆先生のお話を聞いてぼくは、初め社会で原爆の事習った時には、あまりざんこくさが分りませんでした。だけど今日原爆先生からのお話でざんこくさあか伝わってきました。

まず初めに説明してもらった原爆の音がすごくリアルで、おとろきやその場所にいた人は、もと大きな音がおとろきを感じている人が多いのではないのかぼくは、思いました。次に学んだことかたくさんありました。一つ目は、候補になった都市のことです。

ぼくは、今学んできた中で原爆がおとされた場所の候補とな、たのが広島と長崎だけだと思っていました。だけれども小倉や横浜新潟京都などが候補にあけられているなんてぼくは知らなかったのでもちかい知れてよかったです。次は、原爆の温度が大きさが想像以上に大きかったし温度が太陽をこえるほどの温度なんて想像することができないです。直径が200m以上で考えられない位です。そして今日教えてもらったことをわすれずこれからは、争のない国でいることをちかめています。今日は、これほど素晴らしいお話を教えていただき本当にありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

12/25

このたびは原爆がどれほど悲惨な
物かを知る機会を下さりありがと
うございます。ぼくの中では、流
川のお話と原爆の温度のお話が
とくに心に残っています。

なぜかというところ流川の所で防水用
水の水がいつか水が蒸発するの
こわくなりました。もう一つは原
子爆弾の温度です。この原子爆弾
の温度が7000℃ということを知ったとき
小さな太陽と思いました。ですが
実際は太陽よりもあついのに
おどろきました。ぼくは、もう二度と
このようなことを起きない
ためにしっかりと生きようと思
いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは原爆先生のお話を聞いて、2つ思ったことがあります。

1つ目は原爆がものすごくひびが大きいということです。教科書にのっていたので、生き残っている人は多いと思いましたが、実際聞いてみると死亡率が40%で、半分くらいの方が死んでしまっていて、すごく原爆はこわいと思いました。

2つ目は、7000℃の物が、600mの所にあったということです。太陽の温度が6000℃と知って、たんきれないと思いました。鉄が、1500℃でとけてしまうのにそれよりも、暑い、3000℃なんて想像できません。また、7000℃の物がは上にある場所は、かげもできなくて、どこも場所より、一番、厳しかったと思います。さらに太陽、光もあびているので、ぼくたちが想像する以上なほど、と思いました。

貴重なお機会、ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

名前は裏面に記入してください

今回、原爆先生の話を聞いて、本当に体験した。池田義三さんは、物資調達周達の命令を受け広島市に行きそこで原爆が投下され、分けも分からずトラックに乗り向かっていると目撃してと被爆者に言われ、乗せようとするのですが、皮ふかするよりはかえたり、遺体を埋めようとする時、運ぶのに人じゃないよう姿をした人とかを見たりして、わざと小布い思いをしていたのだと思えました。あと、資料を見て考えたのですが、太陽の表面温度よりも高い物が空から落ちてきてさらに、死者が14万人中2万人も的人がいっしょんで死んだと思うとぞくぞくするほどです。たぶん今日ぼくたちに伝えてくれたのですが、それいじょうに小布かたのだと思います。なぜなら、最後、池田義三さんが話していた画像でと中で泣いていたので思い出すだけでも小布かたのだと思えました。本当にありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

12/25

ぼくは、原火暴先生の話を聞いて、全てにおどろきました。原火暴のことは、教科書などで見たことはあるのですが、くわしくは書いていなくて、よくは知らなかったのです。話を聞いて、近くの家などの建物はもちろん、遠くの建物までが、被害にあい、死亡率も40%と、とても多くの人が「き」せいにあり、思っていたものよりもはるかにこえていました。助ける日等の話をしているときに、人の皮がむけて、手と手がはなれたといっている、聞いている方がとてもビックリしていたので、実際にやる方が聞いている頃よりもとてもビックリしていたのだと思います。

原火暴の実際の音に近い音を聞いてとても音が大きくて、おどろいたし、義三さんたちがいたところからでもとても大きな衝撃波を受けていたので、それほど大きな被害だったのかと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

12/25

今回は貴重なお話をありがとうございました。私は、原爆の事は社会の授業で習った程度で、そこまでくわしい訳ではなく、ただ大変だったのだな、と思っていました。しかし、実際お話を聞いていると、大変だったどころではなく、日本として、とても苦しく、大きな出来事であったことを、今さらながら実感しました。お話を聞きながら、想像するだけで怖く、おそろしいのに、それを目の前に、そのおそろしさの中作業するのなど私には想像もできません。そして、何が起ったのか知る間もなく消える入夕、痛みと苦しさにたえながら亡くなる人々は、どんなに悲しく、さびしかったのかと考えると、自分が消えてしまいそうな気分になりました。私は、今回のお話を通して、この出来事は言葉にもならない、どんな言葉でも表せないことだと思いました。木日の授業、誠にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

12/25

原爆といえば「飛行機のようなものから真下に落ちていて、たくさんの方が亡くなる。きのこみたいな雲が出ている。広島と長崎に落ちた。」ということが思い浮かびます。なぜ広島と長崎に落ちたのかなど私は知りません。理由は「通りかかってここに落とそう思ったからだろう。」などと考えてました。でも前からここに原爆を落とそうと考えていて、はじめは京都に落とすことを強くおされたりあることを知りました。他にもいろいろな事を知りました。そして自分の考えていた事がちがっていた事も気づいたりしました。クイズで「太陽の表面の温度は何度でしょう?」と聞いて私は正確か6000℃だと思っ、て手を挙げました。でも原爆の空中の温度は7000℃だから答えてからまちがえたかなと思いました。池田さんがしばらく何も言わなくな、った後、「正解」と言ったのでまちがえなくて良かった、太陽の表面より温度が高いんだと思いました。今回の授業で、原爆がおそろしいなと思いました。ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今日は、六年生のために原爆についておしえて下さり、
ありがとうございました。

私は今日の授業でたくさんの原爆についての正しい
知識を学ぶことができました。

テレビや国語、社会の授業で学んだことがありますが

今日の特別授業のように、資料や画像、そして体験した
方からの話は初めてだったので生々しくてとても怖かった

です。私も一度家族旅行で原爆ドーム付近を

通りました。しかし、まだ四年生ぐらいのときだったので、

知識がありませんでした。なので、今回学んだことを

次訪れるときに家族に話そうと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

ぼくは先生の授業を受けて、原爆のこわさ、そして原爆を投下してしまう戦争のおそろしさを知りました。原爆のこわさ、おそろしさ、被害はぼくが想像していたよりはるかに上、そしてやはり想像できないレベルに達していました。ぼくは今まで原爆は、落ちて町を燃やすものだと思っていました。しかし、先生の授業を受けて、熱線、衝撃波、放射線など他にもたくさんこわさがあることを知りました。ぼくが最もおどろいたのは、死者の人数です。広島市の40%の人が亡くなるというのは、とてもとてもおそろしいことだと思います。そしてもしぼくが義三さんだったら、精神的にも、肉体的にきにも、たえられなかったと思います。そしてぼくは、このような本当に本当におそろしい戦争を二度とおこしてはいけなしいと思います。本当に特別授業をありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

ぼくが「原子爆弾のお話しを聞いてお見
 ったことは2つあります。
 一つ目は、原子爆弾の近くにいなくても
 必ず安全ではないということであ
 ります。ぼくがこの話しを聞くまでは原子爆弾の近く
 にいなければ安全だと思っていたけれど、
 原子爆弾の方々射系泉などもあって
 原子爆弾からは避けられないと見えました。
 2つ目は、原子爆弾を言画におとし
 ていることです。ぼくはたまたまおちたところか
 広島や長崎なのでなく、しかし言画的
 におとしていることを知り、条件がすごく
 むずかしいことも知りました。原子爆弾の
 せいで何人の人の命がなくなると
 したらいっかが痛みました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

12月25日は、戦争や原爆の話をしてくださり、ありがとうございました。私は、今まで戦争のおそろしさをあまり知りませんでした。なので、「どんな感じだろう？」と軽い気持ちでいて、簡単に口に出していました。でも、今回の授業で戦争や原爆のおそろしさ、平和の良さを改めて理解することが出来ました。原爆ドームの中にある女の人の姿を見せてくださいましたね。私はそのとたん、戦争の様子がかんできました。とても怖くて、写真を最後まで見る事ができないくらいでした。その時に先生のお父様が「きれいだなあ」と言っておっしゃっていましたね。私は、「この何倍も何倍も悲さんだ、たのだなあ」と思いました。

今回、話して下さったことは、絶対忘れません。とても良い勉強になりました。本当にありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の話聞いて、体験していな
い私でもまるで自分が体験したようにぞと
しました。その中でも、防火用の桶の中に死体
が沈んでいたところや、河川の死体を
一体一体担いでいたときの様子など想
像以上にひさんだ、たことがわかりました。
しかし最後の姉弟の話では、弟の姉を
思う気持や、池田さんの優しさなどに感動
しました。弟が死んでしまったことは悲しか
たけど、お姉ちゃんも元気に長生きしてくれたらいい
なと思いました。また、こんな悲しみしか全ま
ない戦争がまたおこらないことを願います。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

受講して、まず死者が想像以上に多
くておどろいた。社会で原爆の事
について学習したけど知らない事がまた
たくさんあって、知りなかつた、持っていなかつた
知識などを身に付ける事ができて、とても
良い機会になたと思う。中でも私が一番
衝撃だったのが、トラックの荷台に被爆した方
を乗せようとした際、うでの肉がはかれた
という内容の話をしてもらっていた時で、もし
自分がそこにいたら、と考えると、辛いんだ
らうな。と思った。又、私達が話を聞いて
いる時に『怖い』と思う所がたくさんあ
ったのだから、池田さんは、私達には想像
もできないくらい怖かったらうな。と
思った。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

この度は、貴重なお話をたくさんして下さい、
ありがとうございます。ぼくは、おし
くなりになってしまった方々を、おんぶをして
運べるのがすごいなあと思いました。
なぜなら、ぼくだったら、いくら国からの名
令でも逆らってしまうと思ったからです。
それに、候補になった都市の、番おされ
ていた場所が京都だったのもおどろき
でした。ぼくは、(と、きり)広島や長崎等の
ような、広びろとした空間の場所が
ねらわれるのだと思いこんでいたので、京
都だと聞いて、広びろとしていない建物
等がたくさんあるところでもねらわれるの
だなと思いました。もし、ぼくがその時代に住ん
でいたらたとえ生き残れたとしても、その後どうすればよ
いかわからなくてパニックになっていたと思うので、そのような情さ

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com

でも、冷静に対処できるのか、すごいと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

僕は今日、お話を聞いて改めて戦争のつらさやむごさを感じました。例えば、爆心地にいた人は、真上からの熱線や衝撃波などを受けたため、すごく厚いコンクリートなどの中にいなければ、いっしょんで炭化したり、熱で体がやけどを焼いたり、もし助かったとしても、原爆しょうなどのこいしょうで苦しんだりと今の僕には、想像できない程のつらさや恐怖だったんだと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私はお話を聞いて、もう二度と戦争が起こればほしくないと思いました。なぜなら、戦争が起これると、多くの方がきずつき、苦しみ、亡くなってしまふからです。私がお話を聞いていて、一番心に残ったことは、被爆した方の様子についてです。資料館の人形を見ただけでもゾッとするのに、もっとひどい姿をしていたと思うと、被爆された方も、助ける方もとてもつらかったのだらうと思います。もう二度と戦争が起これないようにするには、どうすればいいか、自分にできることはないかを考えてみようと思いました。本日は、貴重なお話をありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

12/25

今日は、とても貴重なお言葉を聞かせていただき
ありがとうございます。

原子爆弾の事は、テレビでたまに見ますが、
いずれも被害者(被爆者)目せ人での意見で
あって、救助にあたる兵隊さんの意見は、
なにかも~~な~~意見なので、とても興味深かったです。

そして、何も知らなかつた者の意見ではありませんが、
池田先生のお話を聞いていて、爆弾の音を
池田先生が、マイクを使ってリアルに再現した日赤
や回目の時、~~この~~あの音がまた再現がくるなと思っ
ていてもびっくりするので、何も知らないで、原子爆弾
がふってきたとき、広島の人たちはもっともっとびっくり
したと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆先生のお話を聞いておどろきの連続でした。まず原子爆弾投下都市の条件があることが初耳でした。しっかり効果的にひびきかざるような条件を初めて知りました。そしてその候補になった都市で一番強くおされたのが京都ということも初めて知りました。私は広島と長崎が原爆のイメージが強かったので横浜、新潟、京都も候補に入っていたことはとてもおどろきました。衝撃波の速さが音速よりも速いことやひびく率70%、しぼう率40%(5人に2人)ということも、全てこの原爆先生のお話を聞いて知りました。私は今回原爆先生のお話を聞いて改めて日本のためにも、戦争について知っておかなければと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は今日の原爆の話聞いて原子爆弾の強さ怖さおどろきました。広島に落された原子爆弾は丸いふつうの爆弾だと思っていたけれど、飛びりなど色々なことを考えて原子爆弾は作られたと少し怖く思いました。原子爆弾は太陽よりも熱いことにおどろきました。太陽の温度は6000℃で、それも熱いと思っていたのに原子爆弾は7000℃もあって、いかに強さにおどろきました。そのことを想像するだけで怖くなりました。でも実体験した人はすごく恐怖だったのでないかと思いました。私は実体験をしていないので想像することしかできません。でもお話を聞いて、少しでも気持ちを知ることができたと思います。貴重なお時間をありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回は、貴重なお話ありがとうございました。

ぼくは、先生のお話を聞いておどろいた事などが、2つあります。

1つ目は、原子爆弾の事についてです。原子爆弾は表面だけで7000とほどあり、中心の方は、100万とあり、それに横のはばは、200mもある物が日本に降、て来るなど考えるだけでも、体がふるえるほどくさいおどろきました。

2つ目は、衝撃波や放射線についておどろきました。衝撃波は毎秒440mという速さで音よりも速いことにおどろきました、それに人口が35万人の内、14万人もの死ななくなりました、このことを聞いて、さうとうな圧力な人ただなと思いました。

ぼくは、先生のお話を聞き、毎日毎日大切に過ごそうと思いました。今回はありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、お話を聞いて、原爆はおそろしいと、あらためて思いました。そして、池田義三さんたちは、すごい勇気があって、感激しました。たくさんもの人を助けて、たくさんもの町を、救っていて、すごいと思いました。どんなにも恐ろしくても、原子火暴弾に遭遇してでも逃げない義三さんが、かっこいいと思います。原子火暴弾は、広島に投下された原子火暴弾、リトルボーイでは、長さ3.12mの重さ4tと聞いただけでも恐ろしいです。そして爆発した時の原子火暴弾。直径200mの中心の温度が100万℃。そして一番おどろいたのが、太陽の表面温度よりも、原子火暴弾のほうが1000℃も高いのがビックリしました。衝撃波の速さが速くて、風がきたあとにドーンとなるのがこわいと思いました。今回は貴重なお話ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回はまたうな話をありがとうございました。

ぼくはこの話でびっくりしたことが一つありますといいますが全ても全てもびっくりしましたが全ての中からえらびずびびっくりしたことを一つ書きます。

ぼくが一番おどろいたのは、太湯の温度が6000℃でさらに1000℃高い7000℃だということです。

太湯より1000℃高いということは、地球上に太湯がふつか、そきたのといっしょのようなものでしかもその1000℃高いから、コンクリートもとかすこともできます。

なのでぼくは、このことを書きました。本当にこの話しはせ、たいおすれません。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆よりこわく感じました。原爆は人の命をいっしょ
んにしてうばうおそろしい物だとあらためて思いました。
原爆の名前を初めて知りました。少年はなぜあそこまで
すごいのでしょうか？不思議に思いました。しかし、もう一度やて
はいけません。

原爆ふくれあかると表面が太陽より熱くなる。それが地
上600mしかはなれていない位置にあるおそろしさを感じました。
衝撃波の速さかはいいことを知っていましたが音より速いことは
とてもおそろしかったです。12/25今日ありがとうございました



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

貴重なお話、ありがとうございました。私は、
義三さんの勇気ある行動に感動しました。
いくら兵隊とはいえ、原爆で皮ふが焼けただけ
の人々をトラックの荷台に乗せて助けることは、たれ
にでもできることではありません。もし私が義三さん
と同じトラックに乗っていて、被爆者の人々が助けを
求めているも、目をそむけることしか、あるいは他の
兵隊が助けていても、恐怖で頭が真白になり、何
もできないと思っています。私は一度、「はだしのゲン」を
読もうとしましたが、表現が生々しく、これが実際にあった
ことだとはどうも思えず、怖くなって読むのをやめてしま
いました。しかし、この特別授業を受講して、これ以上、ひさん
なことがおきない世界にしたいと思い、私が大人にな
った将来、そのき、かけができないよう、戦争について考えてみ
ようと思いました。特別授業の原作も、この授業を
通読して、読んでみようと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、ワトルボーイが時速300kmのスピードで飛んでくるとおかつ時ぼくはすぐこわったです。ぼくは、あまり死者はあまりでないと考えたけど広島市の人口が35万人だけど死者が14万人で死亡率が40% (5人た2人) なんて知った時はとてもびっくりしました。あとぼくが一番こわかったのは、太陽よりもあついものか地面から600m上のところにあつてぼくは、とても死者がたしかんでると思ってこわかったしその太陽もあついものか衝撃波などかいろいろこわい家や人などがいっしょにならなるとしようと考えながらきょうふでいっぱいです。しかも衝撃波は音速よりも速いスピードでくるのですごくこわいものたと思いました。あとぼくが思ったのはせんそうはとていけないうつたしなに毛かんけいのない人もまじこわしみんなかいやな思ひしかのこらなひのぼくはせんそうはとたんを使つて広島や長崎などの県や川の原や火の海に

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com
 するのはぼくはいいかたと思ひました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今日原爆先生のお話を聞いて、この授業を受講する前に社会や国語で戦争について勉強をする事はありましたけれど、今日のようにくわしく教えて下さり資料をもう一度読み返すと、最初に読んだ時に比べ、1つ1つを自分の暮らしている所などに想像する事ができたので写真や資料の見方や読み方が変わりました。

池田義三さんのお話を聞かせて下さり、原爆が投下される音を初めて聞きました。それは少しずつ音が大きくなり、音が消えたと思ったり、ものすごい音が鳴りびくりましたので、当時はこのような音が目の前で鳴ったと思うと、とてもおそろしく思います。

しかし戦争のくわしい事をこの場を通じて知る事ができたので、とてもよい経験になりました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今日は、原爆の事を話してくれてありがとうございます。
ぼくは、社会の授業でしか原爆の事を調べたことが
なくて、とくにぼくが気になったのは、衝撃波が音速より
速かったことです。なぜなら算数でなら、た速さのこと
は、時速、分速、秒速でそれを音の速さとくらべて、音の方
がはやかった。で音の方がはやくかなと思、ていたけど
衝撃波が音速より速いと知、た時は、とてもびっくり
しました。あともう一つ気になったのが死亡率です。
広島の人口が35万人で被爆者が24万人でそのうちの
14万人が死亡したと聞いたときびっくりしました。
そして、死亡率が40%ということも多くの人が命を
おとしたんだなと思いました。あとはじめて知、たのは
原爆ドームの本当の名前です。ぼくはふつうに原爆ドーム
というのかなと思、ていたけど、本当は、広島平和記念館
広島県産業奨励館だと知、てよかったです。今日は、
本当に原爆の事を話してくれてありがとうございます。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、池田さんのお話を聞いて、2つ
おどろいた事があります。

1つ目は空爆のおそろしさです。話を聞く前
ぼくは、いかは、それほどない空からぶってくる
爆たんだと思っていました。しかし、それはちがひ、本当は
い、しゅんで人を殺ろしてしまふとてもこわい件物
だと思いました。

2つ目は、一回の原爆で約14万人の人を殺して
しまう事です。しかも、衝撃波の速さが音の速
さより速い事にもビックリしたし、その衝撃波で、
死んでしまった人もたくさんいる事におどろき
ました。

原爆は、人をたくさん殺してしまうもので、

本当におそろしいものだと思いました。

今日は、原爆の事を教えてくれてありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は、原爆先生の話を聞いて私はこう思いました。昔は、1発だけで14万人の人たち、そしてその中の2万人の人たちはすぐに死んでしまった。死亡率40%。だいたいの人たちは、その火爆発でいなくなりました。昔にくらべれば今は本当に平素な生活をおくっているのだなと思いました。私は話を聞いているだけで、ゾッとしたのにそれを経験している池田さんは、くるしみがあつたでしょう。私はもう戦争をおこしたくありません。平素にすごしたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこウ

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生のお話を聞いて、戦争はあってはならないことだと思いました。広島のもともとの人口が35万人だったのが、なくなった方々14万人、被爆者が24万人だといふことにおどろきを感じました。また、太陽より、1000度高い7000度で原子爆弾が真上で爆発し、地上3000度くらい熱く、真空で空気がなく、衝撃波は、音速より速い毎秒440mでたえられない中で、生きていた人を奇跡としか言いようがないほど、おそろしい爆弾だと思いました。このような云さんさがないような世の中がずっと続いてほしいと思いました。このような貴重なお話ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生へ

今回は、お忙しい中、原爆について貴重なお話をして下さい、ありがとうございました。原爆先生のお話を聞いて、助けてもらっただけでなく、助ける側の人の大変さも分かりました。助ける側の人は、暑い所に行き、自分が大変な中、周りの被害者を助ける所が勇気があって、すごいと思いました。

その他にも、原爆の小布さも分かりました。その中でも、5人に2人が原爆により亡くなるのが一番怖いと思いました。1しゅんで何十人の人が亡くなるをただ、原爆がおそろしいものかという事が分かりました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

12/25

原爆先生へ

今回が多忙の中、私たちに貴重なお話をお聞かせいただき、ありがとうございました。

原爆の事を知り、本当に残さずで痛ましいものだと思われて考えさせられました。原爆先生の父である義三さんは、広島市の原爆の被害にあわれた後も、様々なところを搜索し、自分たちの任務を果たしていましたが、本当に苦しいものだったろうと思いました。

原爆のいっしょくや投下こうほとなつた都市などについても教えて下さり、一つの爆弾でこんなにも多くの人々の命が失なわれるということはあるとはならないことだと思いました。

このようなことから原爆よりも前に戦争が二度と起きてほしくないと考え、いつか争いのない平和な世界になつてほしいという思いが強まりました。お話を心に止めて、次の世代の人にも伝えていきたいです。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原子爆弾がとう下したことにより、たくさんの死者数か
 でしたことは前から知、ていたけれど、太陽よりも熱く
 7000℃ものか頭上から落ちてきたことがこの世界
 におこったことがひ、くりしました。原爆がおとされる
 ことによ、て、2万人の人達があ、というまに亡くな、
 てしまうと聞いたときに、初めて原子爆弾はどれだけの
 力を持、ていることに気がきました。原子爆弾をうけ
 た人は、肉かはがれおちたりしていたと聞いた時はすぐく
 こわく思いました。大量の水が流れていた川の水
 は少なくな、ていたことで、どれだけ、人の体に火が糊
 り、どれだけの人数の人が苦しんだのかと考えました。
 この授業を受けて、原子爆弾の強さ、原子爆弾による
 被害がどれだけのものなのか分かりました。
 空しゅうをうけた人々の苦しみを知りました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

12/25

今日原爆先生の特別授業を受講して、実際の様子を想像するのはするほど、とても怖くなり、実際は過去にあったことというのは分かっているものの、信じがたい事実でした。例えば川や人間の内臓にいたるまでの水分が原子爆弾の熱で蒸発してしまうということです。温度からすると水がふっとうするのは100℃だから、7000℃の熱が川や水分に入ったら、ふっとうして蒸発するのは分かるけれど、人間の内臓にいたるまでの水分が蒸発するのほども信じられませんでした。また原子爆弾の熱でひんがただれて、そのひんがた手などを持ちあげようとしたときにはおちてしまうということも今はかんばうについているので信じるのができませんでした。しかし、さるかに怖く、おそるい原子爆弾が投下された直後は生きていた人が死んだというのにはとてもおどろきました。このように何も悪いことをしていない人まで巻きこんでほう戦争からいろいろなことを学び、あたえられた命を最大限に生きていきたいと思いました。しかし現実と記録の大きな差があるという事実を知って、直接本当のことを伝え、教えてくれる授業を大切に、これからもそういう授業を積極的に受けていきたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原火暴は、とてもおそろしい物と知っていたけれど、太陽の表面おん度より熱いや、しょうげきはの速さは、音速より速いなど死亡率が、40%で5人に2人がなくなっていると、原火暴の細かいところまで知って、前まで知っていた原火暴の何千万倍もおそろしくかなしくて、もう二度と、原火暴を落とすには、いけないと心の中で深くきざまりました。原火暴が落とされたしゅんかんに2万人のうやがいのしゅんかんできえさっていたというのを知った時、こっちの気持ちを考えると、原火暴は、とてもとてもきげんで、とてもとてもこわい物と思いました。このたびのうやげんで何十万人もの人がころされていくのが、とてもかなしいです。この原火暴の言古しを聞いて、原火暴は、二度と落とすには、いけないとこの原火暴のおそろしさ、きげんさを知らない人に教えて少しだけでも、原火暴のおそろしさをしってもらいたいです。そして、この世界が、平和で安全になってほしいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は1945年8月6日に原爆が起き大勢の命が失われたとい
うことは知っていました。死因や原爆を起した原因までは知
りませんでした。しかし、実際の被爆者の池田さんにより分か
たことは色々あります。例えば、死した原因として太陽の
表面温度より高い「熱線」、音速よりも速い「ショック波」、東日
本大震災の福島第一原発所でも起きた「放射線(放射能)」、
この3つが関わっているということ。原爆投下都市には(効果的
に結果が分かる平野で今までは功がきさなかったところという)
条件があり、ほとんどなくして原爆を落としていたこと。生き
残った被爆者たちには1945年8月6日以降になっても原爆の後
遺しょうが一生あり、苦しんでいるということ。などたくさん
です。この兵器、戦争のおそろしさを未来に伝えていけるの
は、¹⁾被爆者だけでなく私たちにです。二度とこの
おそろしいことをしないためにはこの時代を生きている私たちに
責任があると考えるようになりまし。このようなことを考
えらうようになったのは全て原爆先生のおかげです。本当に有難
うございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆のおそろしさをいきました。
原爆は衝撃波の速さが毎秒440m音速340m
になり衝撃波が来た後に音がするといいました。
また衝撃波は2回くるといいました。
多くの死者が出るおそろしい原爆だとわかりました。
原爆が7000の高温になり空気がなくなるとわかりま
した。地球体200mの中心の温度が100万°Cになる
とわかりました。私は、原爆をお人だエラゲイの
パイロットが母であるといひ衝撃波を受けました原爆の被
害にあつたわけをした5分は黒く体がドロドロのよにな
るといりました。水の中だと火が赤くなるといひまし
た。私は友人などに原爆はおそろしいとおしえた
といひました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

12/25

原爆先生のお話を聞いて私はあらためて原爆のおそろしさを知りました。東京スカイツリーに太陽があるのと同じような熱さ。原爆病にかかった人。5人に2人がせくなってしまう。社会の授業で原爆の事を勉強したけど、原爆の事を今日はあらためてよく知りました。ビデオで見た原爆ドームの中の原爆にあった人の姿は、私から見てもとてもひどい様子に見えました。でも、「きれいすぎる」と聞いて私はおどろきました。あの様子だけでもひどい姿に見えたのにそれをきれいすぎると言ったからです。本当の様子も私は見たことがないけれど、本当に見た事がある人には、きれいにつくりすぎていると思っただ人でしょうか。

兵隊を助けて助けてと言った人に比べて、あの入浴はせえせんちがった人でしょうか。後おどろいた事は、広島に空襲が落とされたわけです。条件があった事も知りませんでした。この授業を通して私は戦争のこわさ、原爆のおそろしさを改めて知ったのでこれから私たちが戦争のおそろしさを教えて、二度としちいけないと教わっていきたくです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

この授業で感じた事

今回の授業で広島でおこったことがよく分かった。戦争のつらく、苦しいエピソードを聞いていると、泣きそうになった。お話をよく聞きながら、想像するとどれもゾッとする。でも、このようなことは、実際におきた出来事だと考えると、「こわい」や「おそろしい」などの言葉ではいい表せない。戦争は、罪もない人々を殺したくさんの命をうばった、死の出来事だと改めて感じた。私のひいおじいちゃんも、戦争にいられたけど、あまり戦争のことは話さなかった。だから、こうやって戦争の悲しみやいかり、さんくさを伝えていくことはとても重要であり、これからの人類にとっても大切なことであると思った。今も苦しい想いをひきずって人生をあゆんでいる人がいる。だから二度とこのようなひいさんな、つらく、苦しい死の出来事がおこらないでほしい。



原爆先生の特別授業を受講して

表

※前は裏面に記入してください

12/25

原爆は とてもこわいことは知っていたけれど、原爆の落下の仕方や衝撃波の温度など知らなかつた細かいことを知り、原爆はもう二度と落としてはならないと思いました。原爆は約2万人の人が一瞬間に亡くなってしまい、死亡率が40%ということを知った時、とてもこわいと感じました。落とした方は、どんな気持ちで落としたのか、何十万人の人が亡くなってしまおう、とても危険なものを知っていて落としたのか、こちらの気持ちを考えないで落としたことにひどすぎると思いました。こんな危険なものはもう使用してはいけない、そして戦争はしてはいけないと知りました。みんなは幸せに暮らしたいと思っている中で、こんなことはもう二度とあってはいけないことです。この授業を通して戦争は何もかもがなくなってしまう一生ではいけないことと知り、貴重な話だったと思い、世界中の人に戦争のこわさ、原爆の

こわさを伝えたいと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日の授業を受けて、私は、原爆を
あまく見 ていたんだなと感じました。また、
原爆の悲しさを感じました。今まで知ら
なかったことがたくさんありました。例えば、
候補になった都市、原子爆弾投下都市の条
件、600mが7000°で、太陽よりも熱い
こと、原爆屋で多くの人がかたな、たこと、
きのこ雲の出来方など、今日の授業では、
初めて知ることの方が多く、他にもたくさん
ありました。

最初は、京都だったのにたんさんの文化があ
るからといって、どうして候補もはずれる
のか、私は不思議に思いました。候補の
ほとんどが南側なのに対して、横浜があたの
は、びっくりしました。

原爆で多くの人がかたな、たけど、どの人も生き
よと助けようとしていたことは、この授業
を受けて伝わりました。

今回は、ありがとうございました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

12/25

今、原爆のことをしっかり話せる人がとても少ない中で、実際に被爆した方の物語や、原子爆弾人の知識を分かりやすく丁寧に教えてくださり、感謝の気持ちでいっぱいです。

今まで、原爆の存在や、落とされた都市などしか知らず、ただ「戦争はいいな」と思っていました。実際、原爆のことをきくと、戦争に対する怖さはもちろん、戦争の被害にあった人や被爆者の方などは悲しみが産まれ、事情をよく知らないで「このようなことはくり返したくない」と胸をはり、言っていた自分を情けなく思いました。しかし、この特別授業でいろいろな知識を得られて本当によかったです。また、このことで自分も少くともやるべきことを見つけたような気がしました。原爆が物理的にどのようなものか、知識があればたれでも話せますが、原爆の精神的な被害は、被爆者の方やその人の子孫の人達だけが語れないと思います。なのでこのような特別授業のように、後世に伝えていける人達をサポートすることは、原爆の精神的なことや、現実を説明することができない私達にもできると思います。義三さんが、原爆資料館の人形を見て「きれいすぎる」と言ったことは、実際の原爆の苦しさが、いかに想像力が豊かになんでも表せられないことが分かります。原爆は実際の恐怖感、その心を受けついでいる人がとても少なく、なっています。そんな中、私達のために来てくださり、90分も大事なお話をしてくださったことを、本当に喜しく思います。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

R/25

今回は、とても貴重なお話をしていただきありがとうございました。このような事を話すのは原爆先生、あなたもつらいだろうし原爆先生のお父様もつらかったと思います。

話は変わりますが、「原爆」を改めて危険な物だと実感いたしました。はたしのケンでも見たことがありますたが原爆の被害にあっても無傷だった人は原爆先生が語られていたように本当にキセキの重なり合っていたのたしか思いあたりません。心からは私の体験した話しをまじえてお手紙をかかせていただきます。私は今までに約10回ほど、ニューヨークとハワイに行っております。行くたびに私は心のはじめて外国の人はやさしい人もたくさんいるし、カウアイ人もたくさんいるからいいな。昔の人もこんな感じだったのか、いいな。と思ってしまう事があります。でも今回の話を聞いて、少しアメリカにきょうふ心を持ち初めました。そんな危険な物、これからは一生つかってもふれなくてもほしくないです。急ぎ改めて考えてみると戦争中に敵の事をやさしくする人は居ませんよね。私は今日、家に帰ると家族にこの事を話して、将来生まれてくる子供達にも語りつきたいと思っております。

あなたのお父様のごめい福とともに原爆先生の健康をお祈りいたします。今回は本当にありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

12/25

原爆先生へ

今日は、原爆先生の特別授業を90分という長い時間をしてくれてありがとうございます。ぼくは、広島市の原爆資料館で「ゲンのまんが」を読んで知っていますが、広島市の原子爆弾のくわしいところを話してくれました。様子などは、筆で表現や声などで書いていたので、とても分かりやすかったです。また義三さんの実話のエピソードなど貴重なお話をしてくれました。そして最後のビデオには、義三さんがもう二度と戦争をしてほしくないことや、原子爆弾がただ危険な物か、そして一つ一つの人の命がただ大切かを書いていました。今日は、いろいろと貴重なお話や義三さんのエピソードを話してくれてありがとうございます。



原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

12/25

原爆についての話をするのは、とてもつらいはずなのに、わざわざ学校まで来られて話してくれているのは、皆が知っておくべきことだからということもあると思います。その中で、私が学んだこととして、原爆のきょうふが身にしみて分かりました。そして、「7000人の少年」というのは、「リトルボーイ」のことだろうと思います。原爆先生のお話を聞いて、被爆者のひさんな姿が目には浮かびました。当時のじょうきょうは、はっきりとは分かりませんが、原爆の怖さ、被爆者のつらさ、悲鳴がとても伝わってくるのを感じました。原爆ドームは、先生が話してくれた全てを、姿形で物語っている気がします。そして、今先生が話すことができてきているのは、今が平和であるからだと思います。これからも、平和の大切さを伝えていきたいです。また、原爆ドームに行き、原爆について知っておきたいと思いました。

もっと



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

分かった事、考えた事

今日は特別授業を受けさせてもらったので、原爆の恐ろしさがよく分かった。そして今までしかなかった真実や、なぜ広島、長崎をねらったのかが分かった。今まで分かってそうに分かっていなかった原爆について、エノラ・ゲイ、4倍ト大憲、リトルボーイの関係性、被害を受けた広島、長崎の住民に起きた、恐ろしい「原爆症」や、原爆について知らないことをすみからすみまで教えていただき、より、原子爆弾への興味が強くなった。放射能、放射線の恐ろしさがよくわかるようになった。なぜなら、福島県のもろたがた。今もなお、放射能がまんえいし、現地で暮らすことができなかつた、このような事件、事故を無くすために僕たちが活動をしていかなければならない。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生へ

本日は、いいがしい中、藤の台小学校に来ていただき、
 まことにありがとうございます。ぼくは、今回の受講で、きづいたことが
 2つあります。まず自分が原爆をまきみしていました。まずリトル
 ボーイのことです。前まではただの強い爆発を起すだけだと思ってい
 ただ、今回の話を聞き、そんな軽いものじゃないとわかりました。高ねつを
 はずすこと、後撃が皮の速さといひ人類、じょう最強のへいきだといふこと
 をもう一度実感しました。もう1つは、苦しんだ人がすくたくいたことです。原爆で
 皮膚が垂れ下がり、手も動かさないじょうたい、トラックにのせようすると、手の皮が
 が取れる想像もしておらず、ぼくははだしのケンなどをよんでいて同なしいん様だ
 と思っていたが、そんな軽いものではなく、皮膚が垂れ下がるだけではなかつたか
 らおどろきました。この貴重な体験を忘れることのないように生活していきます



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

いままで知らなかった、細かい事が分かった。例えば、原子はくたんの投下しょうけんや、ばくたんをおとす場所のこ
うほなど、テレビをみたり、くわしくしらべても出てこない
ことなどおしえてもらってよく分かった。よくはたし
のゲンをくりかえしてよんでいる時にたくさんのおきもん
があたりきになった事があるけど、そのおきもんの
答えなどたくさんのお事が分かった。だから、社会などの
学習で、今回おしえてもらったことをいかして、原は
く先生にきいたことをむかしてないで、いろいろなこ
とにいかしていいと思う。そして、げんはく資料館に行
てみたいと思ふ。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生の特別授業を受講して思ったこと

今回、原爆先生の特別授業を受講して、「おどろき」と「きょうふ」に包まれ、改めて戦争はいけないものなのだと確信しました。原爆によって多くの人々の命をうばい、悲しんでしまうため、絶対に戦争はやってはいけないと思います。

以前から、広島や長崎に原子爆弾が投下されたのは知っていましたが、その原子爆弾が太陽よりも熱く、落とされた周辺も強い熱風でふきとばされ、人々が亡くなっていくようなとても恐ろしいものなのだと知りました。衝撃波の速さが音速よりも速いということにおどろきました。皮ふがはがれ落ち、うでをななめ前に出しながらかくという想像すると、恐怖に包まれ、そして目かけてあげたいという気持ちがかこみあげてきます。

この授業を通して、私のひいおじいちゃんが「戦争は絶対にいけないことだ」と言っていたことがよくわかりました。

まだ戦争が続いている国があるため、私は戦争でなく違う手段で問題を解決し、平和な世界になってほしいと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生^{じゅこう}の特別授業を受講して

表

ぼくは、原爆先生の特別授業を受講して、原爆は、こわいなと思いました。社会の授業で原爆のことについて、少し学んでいたけど、本当にけいけんした人のお話を聞いて原爆のことがよくわかりました。そのお話の中でとくにこわいなと思ったのは、原爆のあつさです。高さ600mの球たいの中心部は100万℃で外が約7000℃というあつさにびっくりしました。そして地面まで3000℃というあつさのことにおどろきました。原爆先生の話をきいて今度原爆し料かんにいってみたいと思いました。



名前は裏面に記入してください

原火暴先生の話を聞いて考えたこと

ぼくは原火暴先生の特別授業を受けて
広島^の原火暴のことを知りました。広島に投下
された「トルボーイ」の力はほぼ太陽の温度
になったり放射線を大量に出したりする
爆弾でした。ぼくはこれを知ってにどと
戦争をしてはいけないと思いました。戦争
はこんな原子爆弾をつかって多く人の被害者
を出してまでして相手の国に勝つためのことをし
てしまうからです。広島に投下された1回の原火暴
だけで14万人もの人が死んでしまいました。また
今も原爆しょうで苦しんでしまったからです。だ
からこれからは戦争を日本だけでなく世
界にある国全部が戦争をしないようにし
てもうこれ以上原火暴の被害者を増やさ
ずに平和な世界になってほしいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生の特別授業を受講して

私は、原爆のおそろしさが分かりました。原爆で5人に2人が亡くなったことが分かりました。被爆者は24万人もいることが分かり、ひばく率が死亡率よりも高いことが分かりました。改ためて、戦争のときふりかえると、戦争は色々なことがおこり、太陽よりも温度が高いきゅうたいを、広島などに、おとしたりすることは、おそろしいことだと、考えました。あと、私は原爆で何人もの方がいなくなつたことは、かなしい出来事なので、原爆のおそろしさを、家の人などにも教えて、戦争や原爆のおそろしさを、より知ってもらいたいと、思いました。

外国も連けいアムと、て、日本の広島や他の都道府県をせめていることが分かりました。今日は、原爆のことを教えて下さいありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

分かったり 感じたこと

原爆先生の特別授業を聞いて、原爆の事をよく知れた。3年の時にちがう先生に話してもらった時は、市民の話だったけれど、今回は、兵隊の話で3年の時よりも、様子などが、くわしく聞けて、とても貴重な話だった。話される前は、戦争をあまり身近に感じていなかったけれど、話を聞いて、まるで自分がその場所において、実際に見ているように感じられた。原爆について、衝撃波や、被害はうきめなど、一つ一つ丁寧に教えてくれたので、戦争という物が、前よりも5倍以上身近に感じられた。一番おどろいたのは、原子爆たんのこと。前までは、爆たんは上から降ってきて、爆発するだけだと思っていたが、今日話を聞いて、爆たんは、衝撃波と熱さをもくもくあたえる、ということが分かった。特に、原子爆たんの重さ、長さにもおどろいた。そして、疑問に思ったのは、なぜ原爆の名前が「リトルボーイ」で、11歳が、小さな子や少年と名づけたのか。そこが、今一番疑問に思っている。そして、一番スゴい様子についてゾッとした。たとえば、焼けてしまった人の様子や、助けを求めている人など、その人々の様子が、思ったより、頭の中にならずに残っている。今回、来てくれたお礼に、戦争を知らない人や、どうでもいいと思っている人に、原爆のおそろしさについて、教えてあげたい。もし、下級生たちに教えるきっかけがあれば、あたし、今日のことを思い出して、そして、原爆先生の思いをくわしく、もう一度と戦争をしないようにしたい。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

日本は、世界で始めて原爆がおとされました。アメリカは、被害を記録し、実験としておとしました。今日の授業では原爆のおそろしさがよく分かりましたが、あまりにもひどすぎて、数字だけでは想像もつきません。街を一つ焼き払ってしまうほどのものを自分の利益のために使うことも、怒りがわいてきました。計画的に原爆をおとし、人の命をうばったこと信じられませんでした。こんなものを、もう二度と作ってはいいないと広めなければならぬと思います。そうしなければまた、おそろしさを忘れ、戦争を起すことになりかねません。「リトルボーイ(少年)」という名前さえつけて原爆をつくるくらいなら、他のことができたのではないかと思います。そもそも戦争というものを許すとは自体おかしいです。だから、今日の話を聞いてよかったです。表面的なことだけでなく、日本人としての気持ちを忘れず、後代にも伝えていけたらいいと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

戦争のおそろしさをあらためて感じられました。戦争について学んだことが今まであまりありませんでした。けれど、今日をきっかけにもっと知りたいと思いました。原子爆弾は、いっしょにして全てを壊かいてしまう大きな力がある。このような物を人間が作ったなんて信じられないと思ってすごくこわくなった。そのせいきょうでたくさんの方々が亡くなった。その人たちを思うとすごくかなしい気持ちになった。死んだ人のことを思うと、またやりのことかあったのかな、やりたいことがあるんたろうなと思もし、自分が亡くなった方々だったり兵隊の人だったら、いろんなことをやり残してこうかいてると思う。だからこそ今生きてるありがたさが分かった。昔とちがって今はいろんな物が発てんしている。今があるのは、いろんな人のおかげだと思う。だからこそいっまでもそういう人の思いを忘れてはいけないと思う。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

今まで何度も戦争の話聞いたことがあるのですが、原子爆弾を広島や長崎に落とした理由や投下都市の条件など詳しく教えていただき「もっと調べてみたい」という気持ちになったと共に、池田義三さんが実際に経験したことを聞かせていただいた時には、自分が思っていたことの想像をこえるような辛さでした。

受講する前の戦争への意識は低く、ただ「大変だった、たくさんの方が亡くなり辛かった」という認識で、「なぜ大変だったか、たくさんの方が亡くなったのか、辛かったのか」を考えていませんでした。ですが、受講を受けている時、受けた後は、「原子爆弾によってたくさんの方が亡くなったなどと、戦争についての深いことを考えられました。

このようなことを私は「忘れてはならないことだ」と思いました。だから、これからも忘れることのないよう辛いことだけ思い出すのも大切だと感じました。

本日はいろいろなことを詳しく、細かく教えていただきありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生のお話をきいて原爆のことをくわしくすることができました。広島に投下された原爆はとても大きく重いことがわかりました。原爆は土也面についてから爆発するかと思、たけど空中で爆発したからびっくりしました。爆発した瞬間に大きく、くらくでその中心がまわりはとてもあついこともわかりました。その原爆でたくさんの人命がとれ、しまいました。このこわい原爆がおこらなでほしいです。

あと、この授業でほうしゃせんがあ、たけれど、ほうしゃせんが危ないことは分かっていたけど、ほうしゃせんがぼう気になるほど危ないというのは、えいめし知りました。このような授業をきいて、昔日本にたにかあ、たのかくわしくきいていきたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

特別授業を受けている
 いろいろなことが分かりました。例
 えば原子爆弾の力のすご
 いです。原子爆弾は、100万℃
 の暑さで地面にいったときは
 3000℃というのが一番心に残り
 ました。おどろいたことは
 衝撃波の速さが音よりも
 速いことです。衝撃波の速さ
 は毎秒440mで音は340m
 なので100mも速いという
 ところがおどろきになりました。
 みんなの授業はまきこ
 れてありがたうございました。



原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回、先生のお話をきいてみて、あらためて、原爆のおそろしさがわかりました。今まではあまり、このような「原爆」のお話をきくような体験がなかったのので、良い経験になりました。このような戦争の話を、最近では、きいたりしないので、ぼくは、戦争の話などを、身近な人にも、知ってほしいと思いました。そこから、広まっていけば、世界は、少しかつ平和にならなっていくと思われました。今回の話の中で、ぼくは、とてもおどろいた事がありました。それは、「ぼくは、つした時の表面温度が、太陽の表面温度よりも、 1000°C もあついなんで、すごくおどろきました。そして、もう一つ、原爆がおとされる候補になった都市に、「京都がはいっていた事」です。今まで、そんな、候補なんてないと思っていたので、とてもビックリしました。今回は、とても貴重なお話を、お話ししてくださって、ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日の授業を聞いてみて初めにぼくが想像していたこととちがうことがたくさんあります。一つは、原爆のおそろしさです。今までは原爆のことをくわしく知っていなかったのですが、ただぼくはつただけのことだと思っていました。特におどろいたことが太陽よりも熱いことです。これにより体がとけてしまったりしてたくさんの人の命がうばわれたことは、とてもおそろしいことだと思いました。

もう一つは候補が広島になった理由です。最初は京都だったのに京都にはたくさんの文化があるから広島になったからです。ぼくはどうしてこのようなことをしたのか不思議に思いました。なぜなら文化は、たくさんの県にあり広島にもあると思うのでおかしいと思いました。

たくさんの被害があった原爆ですが、それでもかえって生きようとしたり、且かけようとした人がいたことがこの授業で知ることができました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

12/25

今回、原爆先生の特別授業を受講して、^{じゅこう}ほくは戦争・原子爆弾かどだけだけ危険なものなのかを改めて考えました。5年生の夏に広島に行きました。野球観戦などで楽しんだ一方、原爆ドーム・資料館では写真を目にし、一気にきょうろをかんじられました。背中丸こけになった男性、まっ黒のおぐんとく・ボロボロな制服、当時歳は未少年の三輪車などの写真が今も頭からはなれません。

そして今回特別授業を受けて、さらに悲さなのだ"ということも改めて実感。しると共に、今は平和であたり前のように暮らしているが、原爆のことは忘れずに暮らすことも大切だと思いました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日の特別授業を受講して、戦争や、原爆のことは改めて考え直された。

特に、おどろいた事ほ3つほどある。

一つは、エンラケイというのは隊士の母親の名前で、その名が「か」あっていた事におどろいた。

二つ目は、衝撃漢が、円じうたんが、きん、空をほうちうさせ、おどろかした事。

三つ目は、戦争中で、米国からした日本は商女なのに、なぜか、京都を守るという事におどろいた。

この授業とうけて、最初に、原爆先生がおっしゃっていた。7000人の少年という意味が「分かった気が」する。

まだまだ知らない事はあるから、もっと原爆の事をいろいろ人に話をしたい。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

今回の授業を受けてます思、たのが原爆は悲^{かな}なものであるということ。授業中の表現が痛々しく、現代の言葉で言えはグロイ表現だった。核兵器

は大量破壊兵器の中でも知名度が高く、破壊力もすさまじいことは知、っていたが、これほどまでの被害をもたらしたことは初めて知、った。

次に自分が授業後に考えたことは、核兵器は無くなるのか無くならないのかである。日本以外の世界に核兵器反対派は多くいるが自分は考えて無くな、ても意味がないと結論を出した。理由は書くと長くなるが、科学が進化すると軍事も強化され核兵器に準ずる、相当する兵器も開発される。現在も世界の国々の一部では軍拡をする国が存在する。そのため無くな、ても意味はないと結論を出した。

核は消えてほしいと思、っている。だがそれだけのための努力ではだめなのかもしれない。全面的軍縮を進めることが大事なのかもしれない。そう思う。



原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、原爆先生の特^{じゅこう}別授業を通して、原爆のおぞましさを改めて感じました。まず原爆の音がとても大きいことにおどろきました。原爆先生が出した音を聞いただけでも十分すぎるほどに音は大きかったです。でも、それ以上にとても大きな音がなっていたと考えるだけで鼓膜が破れそうです。また、それを体験した義三さんはとても言葉では表しきれない恐怖を味わったのだと思うと恐ろしくてたまりません。次に、温度が正常ではなく、ケタはずれの数値だったことにおどろきました。地球温暖化でただでさえ平均気温が上昇している現在でさえ、 35°C ~ 40°C くらいです。でも、原爆が投下された時は、 3000°C なのでだいたい85倍くらいになってしまっています。 3000°C とみるだけでも、おそろしい温度なのに、今の約85倍だと考えると 3000°C がケタちがいどころではなくケタはずれだと感じます。私が義三さんと同じ立場に立たれば、恐怖と熱いだけでは、いい表せない熱さにおしつぶされていたと思います。私は原爆先生と同じように後世



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回、このような貴重な体験をさせて
いただきありがとうございました。
ぼくは、この授業を通じていろいろなこと
を知りました。たった一回の被害で
市の人口の約24%もの人が死んでしま
うことにびっくりしました。次に衝撃
波の速さが音の速さより速い
なんてびっくりしました。原爆先生
原爆先生の話し方から日本
は昔、大変だったななと思いま
せう。そんな日本は今までが
んば。なんだと感じました。
今回はこのような貴重な授
業を受けさせていただきありが
とうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

12/25

私は、原爆先生の特別授業を受講し、一番最初にしたことは、とても恐ろしいでした。人間が、自然界にある物質を利用して、太陽にも負けおとすの温度をほこり、絶大な威力を有する兵器を作り出し、その兵器一つで多くの命をうばったのですから、恐ろしくてたまりませんでした。そして、そんな恐い兵器を作り出してしまった人間が、この世界で一番の兵器なのではないかとも思いました。それと同時に、原爆のせいで命をうばわれた方や、命をうばわれはしなかったものの大切な家族を失ったり、大怪けがをしたり、病気にかかってしまった方をとても哀れに思います。人間の手で同じ人間を殺す。そんな同族殺しは、今までもダメなことだし、これから先もあってはならないことだと改めて思いました。罪のない人の命がうばわれるのを防ぎたい、1人でも多くの人を救いたい。自分にでも出来ることをやりたい、そう感じさせられる授業でした。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆でおそ、た広島の人さんさかどれほどのもの
 かが分かった。広島の人人口35万人のうち14万人もの死者
 がいりてひらくりした。原爆には、3つのことあり熱放射・
 衝撃波・放射線があり一番最初に衝撃波がありそのあと
 に爆はつすることを一いんのうちにおこすこと。そして爆はつ
 後に生きててもその後原爆病にかかり、多くの人々が死
 亡していった。原爆は、エノラ・ゲイという爆撃機にリトルボ
 ーイと名づけられた原爆を投下目標地の相生橋をのり
 4kmはなれた所をとうかし時速300kmで落ちる原爆で
 半径4kmの大玉はんにひかりがありと人々も人々のに
 人間の形が分からなれりほとにひんかへりとはげたりす
 みみたりに焼きこげた形になてい。原爆の中心温度
 は100万と表面温度は7000℃真下の地上は3000℃という高
 温であり、原爆による被害は想像をこへたほと
 あたので、このようなことは二度と起てはならな
 と思、た。

想像



原爆先生の特別授業を^{じゅこう}受講して

表

名前は裏面に記入してください

特別授業を~~授~~講して熱線の事、衝撃波の事、放射線の事を聞いて入が放射線の光、熱線で人が死んでしまったことと、エラゲイの名前の由来、広島が35万入ったのが被爆者の数が24万人、死者数14万人と聞いて入はこんなにも簡単に死んでしまい、放射線、熱線をあひた入は、入なのに入ではない姿をしてた入はとても無さくて、辛く、苦しくても、ずっと助けを求め、そのまま死んでしまうのかと思った。もし自分が軍隊に入っていてその入の姿を見たらとても忘れられない、体験した入は被爆者のその姿や焼死した入のことをずっと覚えているのが辛いとおもう、原爆の温度は鉄でさえとける温度、川も死体でたくさんということ、いつ原爆が来るか分からない、きょうがある、というのがとても悲しいと感じた。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

1

ぼくは原火暴先生のお話を聞いて、ぼくが、知らなかつたことを覚えることができました。ありがとうございました。

ぼくは原爆の重さや長さを知りませんでした。

ぼくは、重さ4t長さ3.12mなどは、知りませんでした。

原火暴は、火暴発したらまず、ねっせんを燃して中心が1億2000℃、表面は7000℃、太陽よりあついとは知りませんでした。しかも地面は3000℃になってびっくりしました。

しょうけきは2tも、びっくりほした音速330mで音より速いなんて知りませんでした。

ぼくは原火暴の話を聞いて原火暴はそれほど^{エロ}いい物がとがりました。

原爆の話を聞いていただきありがとうございました。



原爆先生の特別授業を^{じゅこう}受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の授業で、原爆の怖さ、つらさ、苦しさが分かりました。この授業を受ける前までは原爆について何も知らなかったし、多くの死者が出た、悲しい出来事だという考えしかありませんでした。しかし、原爆は太陽の表面温度より高い7000℃で人々を傷つけ、24万人もの被爆者が出た、怖くて苦しいものだという事を知りました。この出来事は、被爆者や死者だけでなく、軍の人や日本国民などとてもたくさんの方が苦しい思いをしたんだと思います。軍の人は被爆者を助けようとして、ケガの手当てや、背おろしてトラックに運ぶ際、はたかどれどとてもつらい思いをしながら必死で助けようとしていた事が伝わりました。だから、戦争は人を傷つけるものであり、多くの人や物を失ってしまう悲しいものだから、これからの時代に戦争が起きない平和な世の中になると良いです。



原爆先生^{じゅごう}の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

12/25

今日は貴重なお話しもしてくださり、ありがとうございました。ぼくは、今日の原爆先生の話も聞き、5人に2人がこの原爆で亡くなったと知り、どれだけつらかったか分かります。また、広島は、原爆投下の条件に、すべて合っており、ねらわれたのはとても悲しいと思います。ツトルボーイという広島に投下された原爆。ぼくも最初あるマンガを読み、パラシュートで投下されていたと勘ちがいでした。しかしパラシュートで投下されたのはラジオンデという物だったということが分かりました。広島の方々も、原爆がパラシュートで投下されていると勘ちがいでしたと聞き、そう、そのころはとても怖かったと思います。このようなことは二度とおきてはいけないこと。だから原爆ドームという物などがあるのかなと思います。今日は原爆先生のお話しも聞き、どれだけつらかったかなど色々なことを学びました。このようなことは二度あってはいけないと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、この授業を受けて、心に残った事がろつあります。

1つ目は、原爆の被害を受けた人たちの状態についてです。原爆をくらった人たちが、ひろがたれさがり、大きいかけとをお、たじょうたいで、ここも歩くことがつらいと聞いて、いるとなせか、月几に感じてきました。

2つ目は、原子爆弾の被害についてです。しょうけきはか2回くるというのは、もうとうた、ことたし、思いました。たんと、資料15の気体が、中心、100万℃、周りが7000℃と、太陽より温度が高いのは、びっくりしました。

3つ目は、7000℃の少年についてです。ぼくは、リトルホー人(少年)と資料15の7000℃の所から、「7000℃の少年」とは、リトルホー人の被害いの事を言っているのだと分がりました。ぼくは、ひろがたれさがると聞いて、原爆のおそろしさに、手に汗がながくなりました。

この授業で、戦争が人を傷つけるのは、やめたいと改めたい

ました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

12/25

原爆先生の授業を受けてみて、私は二度と戦争というものはしては行けないと深く思いました。

私は夏休みに原爆について知ることのために原爆にあつた方のお話を聞きに行きました。原爆で死んでしまった男の子の服も見ました。服に血がにじんでいて、目をそむけたくなるように思いました。原爆先生がおっしゃっていたように多くの人が苦しみなから死んでいく姿が思いうかびました。けれど原爆に知ることによって平和の大切さを知ることができると思いました。なので子供のうちから原爆について学び平和をつないでいきたいと考えました。今は戦争がなく平和な日々をすごしていますが今後も戦争が起る可能性は0とはいえないので多くの人が原爆を知ることには大切だと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

僕は特別授業を受講して原爆を受けた人は大変だったんだろうなと思った。家族を失っても悼む時間も与えられずにひなんをされていたんだろうと思う。色々な人が死んでいたり、家なども吹き飛ばされていく衝撃で足が根っこでいる人が目の前にはいるぐらい豆煎の中に浮かんでしまっている。原爆をよく知らずに後世の人たちに伝えてく必要もあるけど、原爆で幸い生き残った人は話をするのも悲しいものだと僕は思う。そんな中話をしてくれたから、後世の人々も単戦争の細部まで知れど、戦争の悲惨な実態と共に単戦争は酷いものだと後世に伝えられるのだと思う。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今の時代は、まったく戦争がないのに
 くらべ昔は、戦争が多々々々の人数が
 なくなっていたと思います。自分たちは、原
 爆があった時には、生まれていませんでしたが
 その時代に生まれていた人は、陸軍にはい
 りきびしい中でその現状を知らぬ人の死
 体を運んだり、被爆してくるしんでいる人をみ
 たり、自分では、できないことをしていました。
 原爆の一回で、島(広島)の人たちがせくな
 っていました。たことを忘れては、いけないと
 思いました！ 義三さんは、経験して、とても
 とても、心が苦しかったと思います。だから、経
 験した人しかわからない思いがあると思い
 ます。昔は、(広島県産業奨励館)だったのが
 今では、原爆ドームとして今を生活している人々
 に、原爆のきびしさを伝えてくれているのだと思



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

12/25

私は今回の原爆先生の特別授業を受講して、広島に投下された原爆のおそろしさを知りました。教科書では数ページしか書かれていなかったけれど、実際は、もともと恐怖があつたという事を学びました。授業では、広島県産業奨励館ではなく、原爆ドームという名前です。習うので、今回の授業を聞いて、名前が変わった事の重要さを知りました。テーマの「7000℃の少年」というのは、リトルボーイ(少年)が表面温度7000℃になって、広島町の町に落ちてきたという事だと思ひました。いっしょにして燃えつくされた町を私たちは想像する事しかできないけれど、それを見たり、経験したりした人は、その何倍も怖くて、つらかつたのだと思ひます。学校や家で、とても美しい横浜や京都の写真を見る事があるけれど、天候したいいでは、その町が広島や長崎のようなひがいを受けていたかと思つくと、とてもおそろしいと思ひました。もちろん、米軍もそのような事をやりたくてや、

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com

いるわけではない事も分かつて、いるけれど、軍隊の怖さを感じました。私たちが後世に伝えていきたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

12/25

ぼくは原爆先生の授業を受けている
ようなことを知りました。最初にぼくは
原爆が自分の予想以上を上回る
くらいひどい苦しさを知らな
りました。次はどれくらいの距離から落
とされてどのくらいの熱さ、いつど
こで落とされたのか、あと衝撃波
の速さ、死亡率がどれくらいなの
かを知りました。最後には7000℃の少年
を讀んでくれた時ぼくはどのくらい
作者が「つらかったか、苦しかったか、やりたくなかった
感じがあったか」って来ました。ぼくはこの授業
を受けているようなことを学びました。ぼくは
もともと原爆のことを知りたくて勉強し
たいので「また原爆先生が来てほしい
です。今日はありがとうございました。」



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は今まで「原爆」について「軽い気持ちで」
学んでいました。でも今回受講して原爆は
内部が100万℃で外部が7000℃だということ、
原爆はエノラガイによって落とされたこと、エノラガイが
原爆の爆風に巻き込まれずに右へまわったこと、
パラシュートで原爆が落とされたという誤解に
ついてなど色々なことを教えていただきました。
そして一番おどろいたのは京都・横浜・新潟・小倉が
候補になったものの落とされなかった理由です。
京都にはたくさんの寺や神社があるからという理由で
ビックリしました。さらに日本までテニアン島から
B29が飛んでそこからさらに帰れるという事に
とてもおどろきました。
そして空気が雲にも上れる制限があるということまで
知ることが出来ました。
これをふまえていつか出たい広島に行って
原爆についてもっと知ってこんなことが二度と
無い様にしたいです。
今回は本当にありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

12/25

私は原爆先生の特別授業を受講し、学んだ事がたくさんありました。特に、印象深く心に刻まれた事は、原子爆弾の威力です。私のおばか、広島に住んでいるため、広島に行くと必ず資料館に行きます。そこで数々の品や原爆の人を小さく表したレプリカなどを見ると、すごい威力だな、たんだな、などと思っていました。ですが、今、特別授業を受講し、その威力がどれほどすごいのか、又、その威力は何によって発生するのかなど、細かい所までよく理解する事ができました。原爆先生が少し話していた、長崎に落とされた原爆「ファットマン」、は広島に落とされた「リトルボーイ」とは形が違い、中には入っている核も違うため、死者も威力も、それから温度や爆発した高さ、長崎に原子爆弾を落とした飛行機など、調べて比較してみたいことかたくさんできました。今度、この特別授業を受講してもっと色々な事を調べてみたいと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私はこの授業を聞いて、改めて、戦争はこの先絶対にあってはならない事だということを実感しました。爆発した時の温度が太陽よりも熱くなっていることや、広島市民の5人に2人が亡くなったという事実には、衝撃をうけました。また、被爆した方の状態を、「人間ではない」と表現されていて、原爆の恐しさを痛感しました。私は市民達が何もしていないのに、このような被害をうけたのは何故か、疑問に思います。だから、これからの時代で、広島・長崎と同じような悲劇が起こらないよう、原爆先生のように語りついでいくことが大切だと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

ぼくは、あまり原爆の事をマシが、
はだしのけりでしか知ってなくてくちしいこと

は知りませんでした。

けれどこの原爆先生の
特別授業を受講し原爆のことがくちしく
なれた気がしました。

池田義三さんは立派な人でやさしい
なとも思いました。

この原爆がどれほどひどく、どれほど
いやな思いをしたのかをよく実感
しました。

原爆に使われたものや木幾体の名前、
条件候補などくちしく細かく矢口れまし
た。

藤の台小学校に、原爆のことでさかえろこ
さを伝えにきてくれてありがとうございます。
この特別授業を大せかにして、心にとどめ
て生活をしていこうと思いました。

今回は、ありがとうございます。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

特別授業を通して原爆のおそろしさなどがよくわかりました。
とくにおどろいたことは長さ3.12mの物がいきなり直径200mの
物になって建物のなどをこなこなにしたことです。大きさをたけてなく熱
さはあのなんでもおとがしてしまおうといわれている太陽より表面
温度が1000℃も高いということにもおどろきました。温度など
から考えてもその時の悲惨さなどが伝わってきました。ぼくはもう戦争
などの争いはしてはいけないと特別授業を通して改めて思いました。
戦争をしていてもたれも笑顔になれない未来は笑顔あふれる
世界にしたいと思いました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

12/55

日本が第二次世界大戦中、初めてアメリカが原子爆弾を作り上げて、その力を試すために、広島に原爆を落とす。その時の力までと言っても、その時にぼくは日本の広島を実験地にしたのでは無いのか? という疑問や怒りを感じました。そしてアメリカの実験のために犠牲になられた人々がとても多いと思います。また原爆は爆風、熱だけでなく被爆して、生きるとして放射線というものが原爆症にならざるを得ないものを作り上げて、それを人に向けて使うことは本来あるべきではないことだと思います。これから新しい兵器などが生まれても人に向けて使うことはならないと思います。

今回は原爆の被害者や人に兵器を使わないこと、戦争はしないことなどがわかりました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は、原爆先生の授業を受講する前は自分も原爆が、とてもおそろしい物だと思っていました。にげる事もできず、痛く、苦しく、くわしく、かなしく、そして周りの人が次々と死んでいくきょう怖で、広島や長崎の人は、相当苦しかったと思っていました。しかし原爆先生の授業を受講しながらは、もっとも辛く、痛々しい事件だったという事が分かり、今あたりまえのように生きている事、あたりまえのように家族とすごしている事、家がある事、学校に通えている事、いろいろな「あたりまえ」が、本当はずいことだと分かりました。戦争のない国で生まれた事、家族が生きている事などをありがたく思い、生きていきたいと思いました。今回の授業、とてもためになりました。本当にありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は実際に原子爆弾が投下された時を知らせてはが今回お話を聞いて、どれだけ恐ろしく、人の命をうばうものなのかがよく分かりました。池田義三さんが体験された、たくさんの痛々しいことととても実感することができました。広島で、死体を担いで集積場に運んだつらい日々であったり、17.8歳くらいの女性を目にしたときのことも、今まで知りませんでした。助けを求めらる人々を思うと、とても胸が痛みます。目を疑う恐ろしい物を見つけた時、真赤になった広島を目にした時、のことをくわしく話していただいて、改めて原子爆弾のひどいこわさがよく分かりました。社会の授業では分からない、事実が今日心に残るものとなりました。原爆資料館を訪れた時の一言も、心にきざまれるものとなりました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、お話しをきいて、原子爆弾のおそろしさを
知ることが出来ました。

最初は、エノラ・ゲイで、アメリカの原子爆弾
投下都市の条件で、京都が一番のこうほにあっ
たのがおとりましたか、ほかにも、広島、小倉、
長崎、横浜、新潟のたきさんの中で、広島
と長崎に投下されて、とてもくるい思いをしたり、
悲しい事があつたけれど、今、日本中、外国にも
世界遺産として、多くの人に出来事を伝えられ
続けていて、すばらしいな、と思いました。

もう一つは、「リトルボーイ」原子爆弾で、
小さな子、また少年という意味を持つ爆弾は、
量が4セもあり、この4セの「リトルボーイ」を、
9632mもの上空から投下され、上空600mで
爆発し、表面温度7000℃という太陽よりも
高い温度で、それが、広島に投下されたたきさんの人
々がとくなくなつてしまつてとても悲しく思う。うけては、た人
のつらさがとても伝わってきました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、この授業を通して改めて、原子爆弾のおそろしさを知りました。さらに細かいこと(田付や時間など)や、原子爆弾投下都市の条件、候補都市、衝撃波の速さ、広島市の人口のうちの被爆者数、死者数、死亡率、とある人からの証言、など、今まで矢口らなかったことがたくさん矢口れました。そして特にびっくりしたのが2つあります。1つは空しゅうの音を口で再現しているのがすごいと思いました。さらに爆発音も再現したのがすごいおどろきました。2つ目は、2番の資料の内容です。広島市の人口の35万人のうち、24万人が被爆を受けていて、死者が14万人、その中の2万人は一瞬にしてこの世から消えてしまった。と聞いた時は、体がふるえました。

今回は、藤の台小学校の6年生に原爆のことを教えていただき本当にありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、今回原爆のお話を聞いて改めて原爆という
とても悲しい事を知りました。前に学校の国語の授業で
広島の大原爆ドームの事を知りました。この授業で
私は、池田先生から、たくさんの事を教えてもらい原爆
がとてもこわいことが分かりました。本当にこわいと
分かったからといって、実際に体験をしてみないと
実感がわきません。しかし、今回で池田先生が
話をしてくださったり、本物ぽく原爆の音を再現し
てもらって、本当にその場所に行った人はきょうふでたま
らなかつたと思います。原爆でお亡くなりになった人は、
苦しさがとてもあったと思います。私は最後に見た
池田先生のお父さんが救うことができずに悲しく泣
いてしまったというのを見た時に、私は泣きそうになりました。
なぜなら自分は生きて救うことができたはずなのに、
救うことができなかったからです。自分が一番亡くなつた
人ばい人ばいつらかつたが、大変だつたかが分かっていても、
救うことができなかったと私は思います。私が救える人
がいるのに救えなかつたら私はおぼえします。私は、今回
学んだことを忘れずにこれから人生生きていこうと思います。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生のお話を聞いて原爆の
最悪の**兵器**だということにかきおこ
 できました。原爆は、広島か長崎
 の人をまぶらゆの崖に落としたさい悪の
 物。ぼくは、落とされる**候**補になった
 都市の中に新潟や京都かいた
 と**思**いませんでした。今考えてもなぜ
 新潟か**候**補になったかわかりませ
 ぼくの予相はたしかあそこは米の
 産地だったのでそこをたたくば
 日本の米が減るからた**思**いました。
 正直リトルボーイが4世もあるとは
 思いませんでした。東京に落としても
 大空しやを受けているので**意見**が
 ない。もし北海道のさっぽろに落とさ
 れていたら牛乳不足でカルシウム
 が不足し骨が弱くなり戦争で
 ぶりになると考**え**ました。

原爆はいつの時代もさいあくです。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

各前は裏面に記入してください

原爆先生の話を聞いて、私が思った事を書きます。まず、私は、最初戦争はおそろしく、残くなものたるたことは分かってました。しかしそれは表面的なもので、ちゃんと、具体的な内容はしりませんでした。そこで、原爆先生の話を聞き私の想像をこえる死者の数ですが、はやく死とすとは思ひが世人で死かおそはて、原爆の強烈な力、私は戦争の真のおそろしさが分かった気がしました。そしてなにしろも、印象的だったのは、被爆の声です。社会で「くるしかった」とかは書いてありますが、実際は、そんなくるしいとか、いたしで済まされないのが7000人の命で、分かりました先生のリアルな演技と、細く表現されている文(被爆の)で、背中がゾクゾクするほど恐怖が伝わって、左んたか、くるしい気持ちになりました。今回は私達に、戦争について教えてくださりありがとうございます。それから、戦争のおそろし





名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、今回の特別授業を通じて原爆について、の怖さを知りました。

太陽で6000℃の温度があるのに原爆の中心は、100万℃落下して3000℃の熱さを広島の人々は浴びて、それで爆心地の近くのものは、液体になって溶けてたり、落ちて、いっしょにいなくなる人まで、軽傷で助かった人は希跡だと思いました。「はだしのゲン」では、家にいた人は下駄まになつたり、風圧で木にささたりで体全体にガラスがささつて、当時の事を想像しようとしてもまったく分かりません。その中で池田義三さんは自分の意思で判断し行動に移せたのがすごいと思いました。そして、1人の女の子を救ったのに女の子も感謝しかないと思いました。でも、苦しすぎて「死にたい」「殺してくれ」と思う人までいたのではないかと思います。

この話を聞いて、記念館のは、きれいなすまいると思うのは、確かにそうだと思います。もう一度行って、と原爆について深く知りたいと思いました。



12/5

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

各前は裏面に記入してください

原爆のことは「はだしのカメ」でほとんど分かっていたつもりなんだけど、実際先生の話を聞いて吐きそうになった。原爆のせいで、防火用水のおけや川にはいったひとはみんなやられて(ぎせい)いたけれど、熱湯も関係するのは考えたことがなかった。まさか、アメリカが文化財のことを考えるとは思ってなかった。このキノコ雲はけむりなのだろうとずっと思っていたが、実際は水分と上昇気流だけでできているなんておどろきた。今でもかく兵器は消え去っていない。水素爆だんというかく兵器があるのだが、原子爆だんの何倍もおそろしいという。絶対使ってはいけないと思う。この原爆の体験談を聞きなされたら水素爆だんの威力は、世のすばいかなる。考えただけでふるふるふるえて、気持ち悪くなりそうだとにかくもう悲しいとかかわいそうだとかをとくに超えたレベルで、もう気持ち悪いとしか言いようがない。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

ぼくはもともと原爆について少しだけしていましたがここまできわしく原爆について知れたのはとても良い経験だと思いました。そして、実際に原爆が投下された時に広島にいた軍人の方の視点で色々な話を聞かせてもらったのがすごく分かりやすく良かったと思いました。そして、その話の中で心に残っているところが原子爆弾の温度が上空600mで太陽よりも熱くなっているということです。ぼくは東京スカイツリーの高さに太陽があつたら考えると体がぞく、としました。そして今北朝鮮魚羊などが新しい兵器を作っているなどと聞きまた戦争が起こってしまうのではないかと思いました。ぼくは原爆先生の話を聞くまでは友達などから怖いという言葉聞いていたので少しいやだなと思っていたのですが話を聞いてただぼくたちに真剣に原爆を教えたいだけなのだなと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

心に残ったことは、原爆がどれほどの力なのか、改めて分かった。原爆の中心の温度が100万℃で、外側の温度が7000℃だ、というところにおどろいた。しかも太陽の温度が6000℃なので、原爆の温度の方が数倍高いことにおどろきました。原爆の大きさが200mで、高さが600mなので、東京スカイツリーが634mで、たいてい東京スカイツリーの高さぐらいで想像するだけでいいと思えました。